

ライブ！ユニバース、日本で46年ぶりに見られる皆既日食を トカラ列島など4カ所から世界に向けてインターネット中継

ライブ！ユニバース（事務局：東京都、会長：尾久土正己）は2009年7月22日に日本などで観測される皆既日食(*1)をプロジェクト名「LIVE! ECLIPSE 2009」としてインターネットで中継します。日本の陸地で皆既日食が観測されるのは1963年以来、実に46年ぶり(*2)のことです。ライブ！ユニバースではこの日食をトカラ列島中之島（鹿児島県十島村）、奄美大島（鹿児島県奄美市）に加えて、中国・上海近郊、太平洋上のキリバスから中継します。このプロジェクトは世界天文年2009(*3)の日本国内主催企画の一つです。視聴は<http://www.live-eclipse.org/> または <http://日食中継.jp/> から無料で行えます。

◇今回の皆既日食の特徴

今回の皆既日食はインドで始まります。太陽を隠した月の影はネパールなどをかすめた後、重慶、武漢、上海といった長江（揚子江）流域の中国の主要都市を通過します。

その後、月の影は鹿児島県の薩南諸島に到達します。薩南諸島では種子島の南端から、中之島などのトカラ列島、奄美大島の北側が月の影に隠されます。続いて硫黄列島を通り、キリバスなどのミクロネシアに至り、日没を迎えます。

今回の日食は皆既継続時間(*4)が21世紀でもっとも長く、最長地点では6分44秒（国立天文台暦計算室による）となりますが、太平洋上です。トカラ列島は6分以上の皆既日食を観測できる数少ない陸地となります。

◇LIVE! ECLIPSE 2009によるインターネット中継

ライブ！ユニバースでは、こうした7月22日の皆既日食を複数の地点からインターネットで連続中継します。現在予定している中継地点は次の4カ所です。

1. 中国浙江省嘉興市（上海の南西）
2. 鹿児島県十島村中之島（トカラ列島）TOKARA 中之島天文台
3. 鹿児島県奄美市（奄美大島北部）
4. キリバス共和国マラケイ環礁

中継ではこれら複数地点からの太陽などの映像を、視聴者の好みに応じて撮影地点を切り替えてご覧いただけるようにします。中継時間は日本時間で7月22日9時から13時（世界標準時で同日0時から4時）の予定です。

中継を見るには <http://www.live-eclipse.org/> または <http://日食中継.jp/> にアクセスしてください。アドビ システムズの「Flash Video」およびマイクロソフトの「Silverlight 3」を用いて中継します。中継についての技術的詳細は今後のプレスリリースならびにホームページ上でご案内します。

LIVE! ECLIPSE 2009 についてライブ!ユニバース会長の尾久土正己は次のように述べています。「私たちはこれまで北はアイスランドから南は南極まで、さまざまな場所から日食を世界の皆さまにお届けしてきました。今度はいよいよ待ちに待った日本からの皆既日食中継です。この日を目指して、私たちは数年前からトカラや奄美大島の方々と交流を深め、中継の準備をしてきました。6分にわたる皆既日食を存分に堪能してください」。

◇ネット中継以外の活動

ライブ!ユニバースではLIVE! ECLIPSE 2009 でインターネット中継のほかに次のような活動を予定しています。

1. 情報交換型コンテンツ

LIVE! ECLIPSE 2009 の活動を準備段階から皆既日食当日までレポートし、日食に関心のあるさまざまな方々と情報交換できるゆるやかな情報交換型コンテンツを6月にも開設する予定です。皆既日食の数週間前から双方向のコミュニケーションを図ることで、潜在的な視聴者の関心を日食当日まで引きつけます。

2. Tシャツなど記念グッズの販売

LIVE! ECLIPSE 2009 のオリジナルTシャツなどの記念グッズを制作して、ネット販売する予定です。

◇ライブ!ユニバースについて

<http://www.live-universe.org/>

天文学者や天文ファン、ネットワーク技術者などが集まり、日食などの天文現象を世界各地からインターネットで中継している非営利団体。会長は尾久土正己（おきゅうど・まさみ）和歌山大学観光学部教授・学生自主創造科学センター長（元みさと天文台長）。

中継イベントごとに日本語のほか英語など複数言語のホームページを作成し、世界中の人々に天文現象を中継してきました。個人のボランティアと産官学の組織によるネットワークが活動活力の中心です。遠隔授業コンテンツとして学校教育や天文台などでの利用も行われてきています。

インターネット中継は1997年から「ライブ!エクリプス実行委員会」ならびに「ライブ!レオニズ実行委員会」として行ってきました。2002年5月に両委員会を統合して「ライブ!ユニバース」を設立しました。ライブ!エクリプス実行委員会のときから数えると皆既日食を9回、金環日食を5回、さらに金環・皆既日食を1回を中継しています。ライブ!エクリプス実行委員会としては、1999年8月11日のヨーロッパ・西南アジア皆既日食ではイギリスからイランまで9カ所からの連続中継を行いました。継続的に日食をインターネット中継している世界的にも類を見ない団体です。

これまでの中継コンテンツは、<http://www.live-universe.org/ja/project.html> でご覧いただけます。これらの活動が認められ、2006年2月には文部科学省主催の「インターネット活用教育実践コンクール」（<http://www.netcon.gr.jp/>）で総務大臣賞を受賞しました。

◇お問い合わせ先

一般の方は

contact@live-universe.org

報道関係者は

ライブ!ユニバース広報担当：石川
TEL. 03-5315-7534 (有限会社シン内)
FAX. 03-5315-7535
press2009@live-universe.org

にお問い合わせください。

*1 皆既日食：日食の一形態。皆既日食は月が太陽を完全に隠します。月が太陽を追い越して行くにつれ、月の影（本影）が地球上を西から東に移動して行きます。皆既日食のあいだ、太陽の回りにコロナを見ることができます。コロナは太陽の明るさの100万分の1の明るさしかないため、太陽がまったく欠けていないときだけでなく、部分日食や金環日食の時にも見ることはできません。

*2 46年ぶり：1963年7月21日に北海道で日の出時の皆既日食がありました。日本の領海では1988年3月18日に小笠原諸島沖で皆既日食がありました。なお、日本では2012年5月20日に金環日食が見られますが、皆既日食は2035年9月2日まで観測できません。

*3 世界天文年2009：ガリレオ・ガリレイが初めて望遠鏡を作り天体観測をしたのは1609年のことです。それから400年目にあたる2009年を国際連合、ユネスコ、国際天文学連合は「世界天文年」と決めました。「宇宙 … 解き明かすのはあなた」をスローガンに世界で140の国と地域が参加しています。詳しくは<http://www.astronomy2009.jp/> をご覧ください。

*4 皆既継続時間：太陽が月に完全に隠されてから、再び太陽が現れるまでの時間のこと。

以上